



若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム<ITP>
第1回 プラクティカル・ランゲージ・セミナー

日時： 2009年5月25日(月) 13:00より

場所： 総合研究2号館4階大会議室

【概要】

地域研究を行っていくためには、フィールドの現地語に習熟することが必要不可欠です。他方、研究成果を国際的に発信するためには、英語等を用いて国際会議で議論できる力を身につける必要があります。

このセミナーでは、そのためのストラテジーを連続して考えてゆくとともに、ITP その他を利用して、現地語・国際発信言語を習得するためのノウハウを身につけます。

今回はその第1回として、ゲストの地域研究の先達たちから、体験的語学学習法を学びます。ゲストスピーカーは、1年後イメージ、5-10年後イメージ、20-30年後イメージの3段階を想定して選んでいます。

セミナーは、基本的には日本語と英語を併用して行います。日本語のみの部分に関しては通訳を用意します。

【進行】

- 1:00-1:40 東長靖 (ASAFAS グローバル地域研究専攻・准教授)
「プラクティカル・ランゲージ・セミナーの狙い」
- 1:40-2:10 金子守恵さん (ASAFAS アフリカ地域研究専攻・特任助教)
「フィールドワークをしながら現地語をまなぶ」
- 2:10-2:40 東城文柄さん (総合地球環境学研究所・プロジェクト研究員)
「現地語で調査ができるようになるまで —ベンガル語習得体験のケース—」
- 2:40-2:50 休憩
- 2:50-3:20 小林繁男先生 (ASAFAS 東南アジア地域研究専攻・教授)
「植物名をラテン名で覚えることとプラクティカル・イングリッシュ」
- 3:20-4:00 昨年度 ITP 派遣者の経験談
- 4:00-4:30 質疑応答

<第1回セミナーの会場風景>

